

職場におけるストレス調査について

2010年7月

1. 調査実施団体

「ストレスと職場」を考える会 代表 越田 清和（札幌学院大学 講師）
北海道勤労者安全衛生センター 事務局長 松浦 俊一
北海道医療生協緑愛病院職業病センター センター事務局長 川代 昭博

2. 調査協力者

加瀬 ますよ（臨床心理士 天使病院）
佐藤 隆（NPO サポートセンター理事）
滝口 一臣（独立メディア・アソシエーション）

3. 調査の目的

この調査は、学校や自治体など公務労働の職場で働く人たちの疲労・ストレスの実態について出来るだけ広く基礎的なデータを集め、職場のストレス度、ストレスの原因と仕事との関連を調べることを目的とします。また、ここで明らかになった実態をもとに、職場におけるストレス軽減のための対策や労働組合によるサポート体制に結び付けていくための最初のステップとします。

4. 調査方法

- 1) 公務労働者（教員および自治体労働者）約 100 人を対象に、仕事およびストレスに関するアンケート調査を行ないます。調査は、厚生労働省の推奨する「職業性ストレス簡易評価」を基本にし、公務労働の実態に合わせて若干の修正を加えたものです。
- 2) アンケート調査は、職場を訪問し 1 時間程度かけて行ない、その場で回収します。この時に、緑愛病院の協力を得て、アミラーゼ・ストレス検査も実施し、比較検討の材料とします。